

3. 盛岡市中心市街地の将来ビジョン

(1) 盛岡市中心市街地全体の将来ビジョン



駅前通りエリア

盛岡の玄関口として、交通機能の再編を含めた駅前広場の再整備、駅前通りのトランジットモール化、街区全体での盛岡駅と北上川の面的な接続強化などによる、駅から中心市街地へつながる、回遊性の高い、歩行者中心の盛岡のエントランスエリアの形成を目指します。

- ①盛岡駅前周辺の交通再編・駅前広場の再整備に向けた分析・協議（提案）
- ②駅前通りのトランジットモール化に向けた分析・協議（提案）
- ③駅前通り北側街区への路面店の誘導・街路空間利活用の推進（提案）
- ④周辺エリアの団体が連携した盛岡の玄関口づくりの推進（提案）

内丸・中央通りエリア

内丸プランとして検討されている官公庁エリアの再編に合わせ、中央通りの道路空間再配分と幹線系公共交通の導入、人中心の街路空間形成、沿道施設と一体の街路空間利用、中央通りの中津川との接続などの検討を通して、新たなかたちのシビックゾーンの形成を目指します。

- ①中央通りの道路空間再配分と幹線系公共交通の導入に向けた検討（提案）
- ②街路空間利活用+モビリティハブの整備に向けた検討（提案）
- ③亀が池・鶴が池の水辺空間再整備に向けた検討（提案）

本町通り・寺町エリア

盛岡城への正面の目貫通りであった歴史を活かし、歴史的な建築物の活用と歩きやすい道づくりを進め、大手先通りから寺町への回遊性をつなげる歴史を活かしたエリアの形成を目指します。

- ①本町通りと寺町へのアクセス強化の検討（提案）
- ②リノベーションを推進する体制・仕組みの検討（提案）
- ③本町通り・寺町の街並み等の景観ガイドラインの作成の検討（提案）

櫻山・大手先通りエリア

盛岡城への入り口であった大手先通り、櫻山神社と櫻山界限、亀が池・鶴が池など、風情ある飲食店街と歴史的な資源が残る特徴を活かし、本町通り、紺屋町などの各方面へ回遊性をつなげる個性あるエリアの形成を目指します。

- ①大手先通りの魅力的な街並み形成の推進（提案）
- ②緑の広場の再整備による中津川とのつながり形成（提案）
- ③歴史資源の活用による回遊ルートの形成の検討（提案）
- ④歴史を活かしたまちづくりの検討（提案）

北上川エリア

開運橋から岩手山への眺望や、右岸側にP-PFIで整備された木伏緑地、かわまちづくりで整備されたかわみなとの水辺空間を活かし、駅前周辺と大通りをつなぐ拠点形成を目指します。

- ①民間開発に合わせた左岸側の水辺空間形成の検討（提案）
- ②水辺のモビリティハブの形成に向けた分析・協議（提案）
- ③北上川沿い（開運橋～旭橋）の街並み等のガイドラインの作成の検討（提案）
- ④北上川兩岸の一体的な活用の推進（提案）

材木町エリア

開運橋エリア

大通商店街エリア

中央通り・内丸エリア

本町通り・寺町エリア

紺屋町・葺手町エリア

旧街道沿いに歴史的な建造物や質の高い商業施設が点在し、街並みの景観保全や活用の議論が活発なエリアです。街並みの保全に関するルールづくりや、地域資源をつなぐ歩きやすい街路整備を通して、周辺エリアと連携してまち歩きを楽しめる個性的なエリア形成を目指します。

- ①紺屋町の街並み等のガイドライン作成の検討（提案）
- ②紺屋町の歩車共有道路整備と街路空間利活用の検討（提案）
- ③中津川とのつながり強化と歴史資源の活用の検討（提案）

材木町エリア

既存の街路整備や光原社をはじめとする個性的な店舗、定期開催されるよ市などを活かし、周辺エリアとのつながりを強化することで、まちなか観光や周遊の目的となる個性的なエリア形成を目指します。

- ①材木町と周辺エリアとのつながりの強化（提案）
- ②材木町の魅力的な街並み形成の推進（提案）

北上川エリア

開運橋エリア

大通商店街エリア

中央通り・内丸エリア

本町通り・寺町エリア

櫻山・大手先通りエリア

紺屋町・葺手町エリア

中津川エリア

盛岡の地域資源である中津川を活かしたまちづくりに向け、川沿いに連続したオープンスペースの整備や、民間の水辺利活用の促進を通して、水辺景観の保全と、川とまちが一体となり四季の変化や水辺の環境を身近に楽しめる魅力的な親水エリアの形成を目指します。

- ①水辺を楽しむ中津川沿いのオープンスペースの創出（提案）
- ②オープンスペースをつなぐ中津川沿いの遊歩道の検討（提案）
- ③中津川沿い（上の橋～毘沙門橋）の街並み等のガイドラインの作成の検討（提案）

駅前通りエリア

結節点にあるクロステラス盛岡の拠点性と、駅前周辺と大通りをつなぐ土地、集積し始めている個性的な飲食・物販店舗といった特徴を活かし、人の流れをつなぐ個性的なエリア形成を目指します。

- ①街路空間利用やエントランスの整備による拠点性の強化（提案）
- ②開運橋エリアの魅力的な街並み形成の推進（提案）

材木町エリア

開運橋エリア

大通商店街エリア

中央通り・内丸エリア

本町通り・寺町エリア

櫻山・大手先通りエリア

紺屋町・葺手町エリア

菜園通りエリア

映画館通りエリア

中津川エリア

肴町エリア

歴史的な生活に密着した商店街としてのしっかりとした運営組織があり、周囲に新たな住民も増えています。新たに開業したmonaka・盛岡バスセンターとの連携や、テナントの更新、チャレンジショップの促進、リノベーションの検討などを通して、生活に密着した商店街として住民の日常を充実するとともに、住民活動や民間事業のチャレンジの場としても活用し、周囲への回遊の拠点となるエリア形成を目指します。

- ①日常利用を促進する商店街アーケード内の居場所づくりの検討（提案）
- ②チャレンジショップなど出店機会の多様化の検討（提案）
- ③リノベーションの促進による周辺エリアとの連携強化（提案）

開運橋エリア

結節点にあるクロステラス盛岡の拠点性と、駅前周辺と大通りをつなぐ土地、集積し始めている個性的な飲食・物販店舗といった特徴を活かし、人の流れをつなぐ個性的なエリア形成を目指します。

- ①街路空間利用やエントランスの整備による拠点性の強化（提案）
- ②開運橋エリアの魅力的な街並み形成の推進（提案）

材木町エリア

開運橋エリア

大通商店街エリア

中央通り・内丸エリア

本町通り・寺町エリア

櫻山・大手先通りエリア

紺屋町・葺手町エリア

菜園通りエリア

映画館通りエリア

中津川エリア

肴町エリア

歴史的な生活に密着した商店街としてのしっかりとした運営組織があり、周囲に新たな住民も増えています。新たに開業したmonaka・盛岡バスセンターとの連携や、テナントの更新、チャレンジショップの促進、リノベーションの検討などを通して、生活に密着した商店街として住民の日常を充実するとともに、住民活動や民間事業のチャレンジの場としても活用し、周囲への回遊の拠点となるエリア形成を目指します。

- ①日常利用を促進する商店街アーケード内の居場所づくりの検討（提案）
- ②チャレンジショップなど出店機会の多様化の検討（提案）
- ③リノベーションの促進による周辺エリアとの連携強化（提案）

大通商店街エリア

市内中心部の代表的な商業エリアとして、商店街の道路空間の再配分や歩車共有道路への改良、官民連携を見据えた交差点部の施設整備、周辺街区との連携強化、エリアマネジメント体制の充実等を検討し、魅力的な商店街を中心に面的に回遊できるエリア形成を目指します。

- ①大通商店街の通りの再整備に向けた検討（提案）
- ②大通り・映画館通りの交差点部における拠点形成に向けた検討（提案）
- ③周辺街区とのつながりの強化による面的な回遊エリアの形成（提案）
- ④エリアマネジメント体制の構築と周辺エリアとの連携（提案）

材木町エリア

開運橋エリア

大通商店街エリア

中央通り・内丸エリア

本町通り・寺町エリア

櫻山・大手先通りエリア

紺屋町・葺手町エリア

菜園通りエリア

映画館通りエリア

中津川エリア

肴町エリア

歴史的な生活に密着した商店街としてのしっかりとした運営組織があり、周囲に新たな住民も増えています。新たに開業したmonaka・盛岡バスセンターとの連携や、テナントの更新、チャレンジショップの促進、リノベーションの検討などを通して、生活に密着した商店街として住民の日常を充実するとともに、住民活動や民間事業のチャレンジの場としても活用し、周囲への回遊の拠点となるエリア形成を目指します。

- ①日常利用を促進する商店街アーケード内の居場所づくりの検討（提案）
- ②チャレンジショップなど出店機会の多様化の検討（提案）
- ③リノベーションの促進による周辺エリアとの連携強化（提案）

菜園通りエリア

ホテルや商業施設が立地し、道路空間再配分による歩行者・自転車空間の充実が検討されている菜園通りにて、街路空間利活用の推進やエリアマネジメントに向けた体制づくりを検討し、駅前周辺エリアと盛岡城跡公園方面をつなぐ魅力的な街路空間の形成を目指します。

- ①菜園通りの道路空間の再配分による歩行者・自転車空間の充実（提案）
- ②沿道施設と一体の街路空間利活用の推進（提案）
- ③エリアマネジメントに向けた体制づくりの検討（提案）

材木町エリア

開運橋エリア

大通商店街エリア

中央通り・内丸エリア

本町通り・寺町エリア

櫻山・大手先通りエリア

紺屋町・葺手町エリア

菜園通りエリア

映画館通りエリア

中津川エリア

肴町エリア

歴史的な生活に密着した商店街としてのしっかりとした運営組織があり、周囲に新たな住民も増えています。新たに開業したmonaka・盛岡バスセンターとの連携や、テナントの更新、チャレンジショップの促進、リノベーションの検討などを通して、生活に密着した商店街として住民の日常を充実するとともに、住民活動や民間事業のチャレンジの場としても活用し、周囲への回遊の拠点となるエリア形成を目指します。

- ①日常利用を促進する商店街アーケード内の居場所づくりの検討（提案）
- ②チャレンジショップなど出店機会の多様化の検討（提案）
- ③リノベーションの促進による周辺エリアとの連携強化（提案）

映画館通りエリア

大通り、菜園通り、中央通りを南北につなぐ、盛岡の市民文化の歴史を伝える映画館通りを中心に、映画や本、音楽等文化的テーマによるハード・ソフトの取組を充実させ、歩いて楽しめる街路空間の形成を目指します。

- ①映画館通りの再整備に向けた検討（提案）
- ②エリアマネジメントによる市民文化を活かしたまちづくりの推進（提案）

材木町エリア

開運橋エリア

大通商店街エリア

中央通り・内丸エリア

本町通り・寺町エリア

櫻山・大手先通りエリア

紺屋町・葺手町エリア

菜園通りエリア

映画館通りエリア

中津川エリア

肴町エリア

歴史的な生活に密着した商店街としてのしっかりとした運営組織があり、周囲に新たな住民も増えています。新たに開業したmonaka・盛岡バスセンターとの連携や、テナントの更新、チャレンジショップの促進、リノベーションの検討などを通して、生活に密着した商店街として住民の日常を充実するとともに、住民活動や民間事業のチャレンジの場としても活用し、周囲への回遊の拠点となるエリア形成を目指します。

- ①日常利用を促進する商店街アーケード内の居場所づくりの検討（提案）
- ②チャレンジショップなど出店機会の多様化の検討（提案）
- ③リノベーションの促進による周辺エリアとの連携強化（提案）

下ノ橋町・清水町エリア

南昌荘や旧石井県令邸等の観光資源が点在しているほか、今後、病院の建て替え・跡地活用等の民間施設の新設・更新が見込まれるエリアです。民間施設と連携して、住民が日常的に気軽に訪れ、観光の中継地点となる小さな目的地を増やすことにより、大通商店街方面と鉾屋町方面への回遊をつなげる個性あるエリアの形成を目指します。

- ①民間施設の一部を活用した拠点づくりの検討（提案）
- ②エリア内外と連携した地域資源のPRの検討（提案）
- ③周辺エリアとつながりを生むモビリティの検討（提案）

材木町エリア

開運橋エリア

大通商店街エリア

中央通り・内丸エリア

本町通り・寺町エリア

櫻山・大手先通りエリア

紺屋町・葺手町エリア

菜園通りエリア

映画館通りエリア

中津川エリア

肴町エリア

歴史的な生活に密着した商店街としてのしっかりとした運営組織があり、周囲に新たな住民も増えています。新たに開業したmonaka・盛岡バスセンターとの連携や、テナントの更新、チャレンジショップの促進、リノベーションの検討などを通して、生活に密着した商店街として住民の日常を充実するとともに、住民活動や民間事業のチャレンジの場としても活用し、周囲への回遊の拠点となるエリア形成を目指します。

- ①日常利用を促進する商店街アーケード内の居場所づくりの検討（提案）
- ②チャレンジショップなど出店機会の多様化の検討（提案）
- ③リノベーションの促進による周辺エリアとの連携強化（提案）

- 中心市街地範囲
- 商業地
- 歴史的な商業地
- 自然・文化
- 行政関連・業務・医療系

(2) エリアごとの将来ビジョン

～歩行者回遊・モビリティ～

■歩行者回遊・モビリティに関するまちづくり方針（案）

「もりおか交通戦略」（令和3年3月策定）に基づく道路空間再編や既存の回遊ルートと、「中心市街地デザイン戦略」で検討する16エリアにおけるまちづくりの取組を連携させることにより、個性あるエリア間のつながりを強化し、徒歩や公共交通、その他のモビリティを乗り換えながら楽しく巡れる中心市街地の形成を目指します。

①エリア間のつながり強化（提案）

- 既存の行政・民間の取組（ほこみち指定・歩行者天国等）を活かし、街路や公園・広場などの公共空間の再整備・利活用や、回遊の目的地となる民間施設の整備を通して、個性ある各エリアのつながりを強化し、中心市街地全体の回遊性を創出することを目指します。

②自転車回遊ルートの拡充に向けた検討（提案）

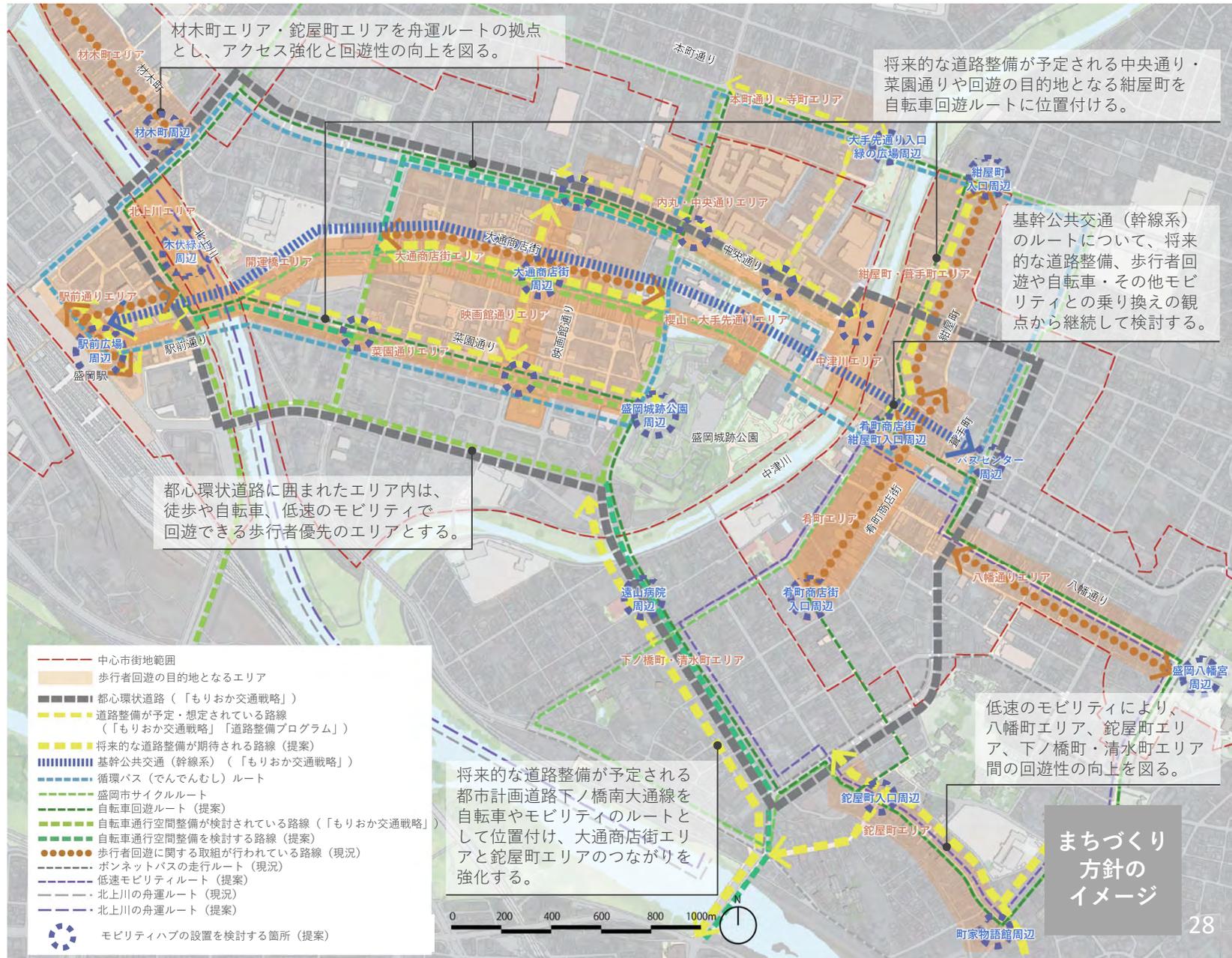
- 既存の自転車通行空間整備及びサイクルルートの設定を活かし、新たに道路整備が予定されている菜園通り（岩手公園開運橋線）及び、中央通り（県道盛岡横手線）の道路空間再配分等と連携して、まちづくりが進む各エリアを結ぶ自転車回遊ルートの形成を目指します。

③周辺エリアとつながりを生むモビリティの検討（提案）

- 既存のイベント時の取組を活かし、馬車やポンネットバスなど個性的なモビリティの運行を検討し、中心市街地外縁部にあたるエリア（材木町エリア、本町通り・寺町エリア、鉈屋町エリア）へのアクセスの強化を検討します。

④モビリティハブの形成に向けた分析・協議（提案）

- 道路整備や公園再整備、民間施設の再編を機に各モビリティの乗り換え地点となるモビリティハブの整備を検討し、中心市街地の各エリア間の回遊性の向上に寄与します。



■駅前通りエリアのまちづくり方針（案）

盛岡の玄関口として、交通機能の再編を含めた駅前広場の再整備、駅前通りのトランジットモール化、街区全体での盛岡駅と北上川の面的な接続強化などによる、駅から中心市街地へつながる、回遊性の高い、歩行者中心の盛岡のエントランスエリアの形成を目指します。

■公共空間整備・民間の取組のアイデア（提案）

まちづくり方針の実現に向け公共空間の再整備や民間の取組を進めていくアイデアを示します。

①盛岡駅前周辺の交通再編・駅前広場の再整備に向けた分析・協議（提案）

- 盛岡駅前周辺のバス・タクシー動線などの交通再編やバリアフリーの強化を含め、駅前通りと一体的で盛岡のエントランスエリアを形成する駅前広場の再整備に向け、交通分析や関係者協議を検討します。

②駅前通りのトランジットモール化に向けた分析・協議（提案）

- 官民連携による「駅前通り開運ホコテン」の社会実験の検証や、交通事業者との協議を通して、駅前通りの道路空間再編（トランジットモール化）による、盛岡の顔となる歩行者中心の街路空間の形成を目指します。

③駅前通り北側街区への路面店の誘導・街路空間利活用の推進（提案）

- 駅前通り北側街区への店舗の出店誘導や、細街路での沿道施設と一体となった街路空間の活用などにより、駅前と北上川をつなぐ魅力的な界隈の形成を目指します。

④周辺エリアの団体が連携した盛岡の玄関口づくりの推進（提案）

- 盛岡駅（JR）、盛岡駅前商店街振興組合、木伏緑地P-PFI事業者などの連携により、駅周辺全体の景観形成や公共空間の面的な利活用を検討します。

例) 駅前周辺の街歩きマップの設置

イルミネーションやおもてなしさんさなど、イベントでのエリア間の連携

参考事例) 歩車道一体の歩きやすい通り
善光寺表参道（長野市）

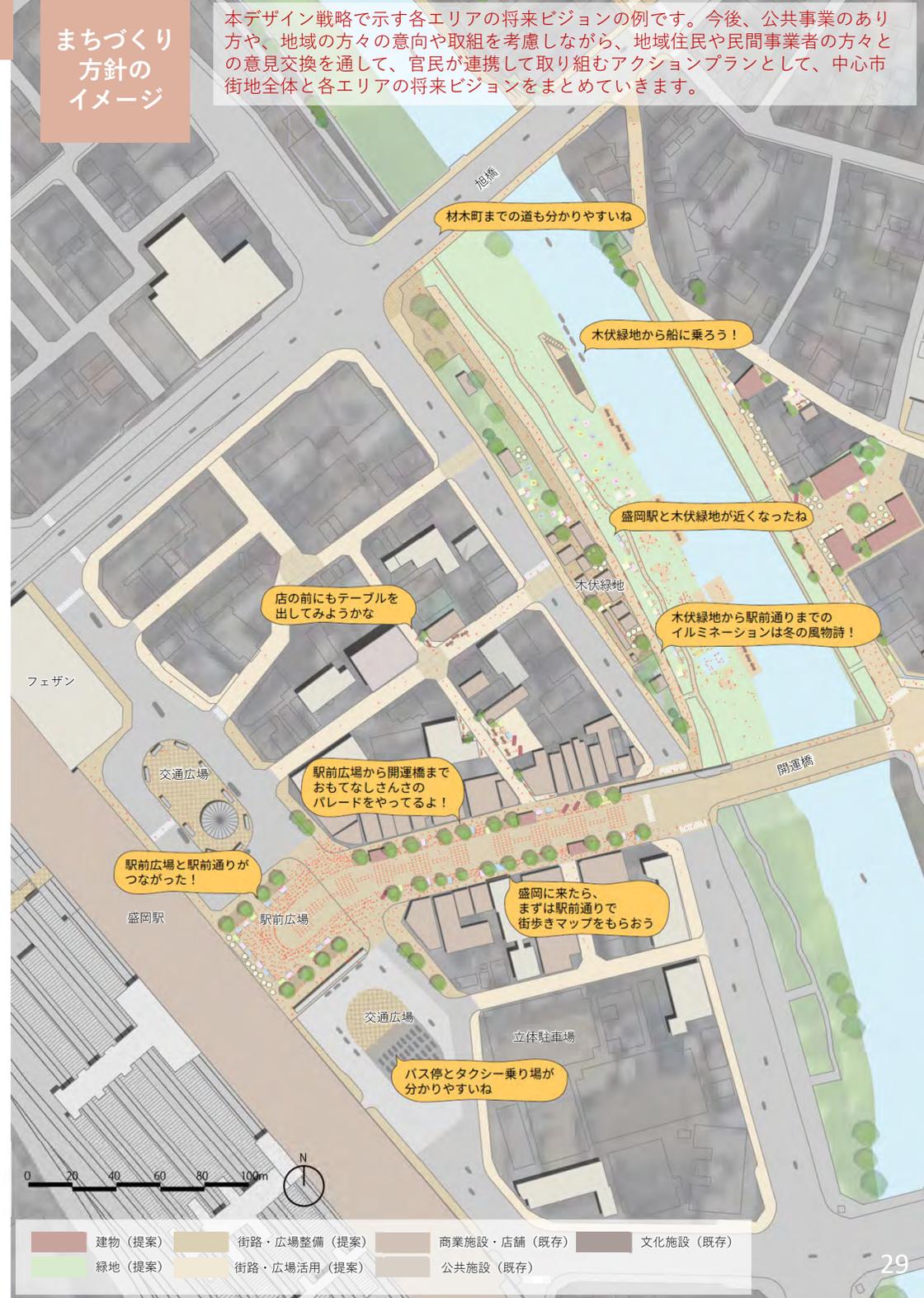


参考事例) 道路の利活用
新橋ガード下（港区）



まちづくり 方針の イメージ

本デザイン戦略で示す各エリアの将来ビジョンの例です。今後、公共事業のあり方や、地域の方々の意向や取組を考慮しながら、地域住民や民間事業者の方々の意見交換を通して、官民が連携して取り組むアクションプランとして、中心市街地全体と各エリアの将来ビジョンをまとめていきます。



■北上川エリアのまちづくり方針（案）

開運橋から岩手山への眺望や、右岸側にP-PFIで整備された木伏緑地、かわまちづくりで整備されたかわみなどの水辺空間を活かし、駅前周辺と大通方面をつなぐ拠点形成を目指します。

■公共空間整備・民間の取組のアイデア（提案）

まちづくり方針の実現に向け公共空間の再整備や民間の取組を進めていくアイデアを示します。

①民間開発に合わせた左岸側の水辺空間形成の検討（提案）

- 川沿いの民間開発と連携し、岩手山への眺望の確保やまちと川をつなぐ空間づくりを検討します。
- 川沿いの駐車場の集約によるオープンスペース整備の検討や、川沿いの街路空間の活用なども合わせて検討し、魅力的な水辺空間の形成を目指します。

②水辺のモビリティハブの形成に向けた分析・協議（提案）

- 右岸側に整備された木伏緑地をベースに、自転車や舟を含めたモビリティハブの設置を検討します。
- 例) 木伏緑地の既存整備や緑地を活かした、ベンチ設置、軽食等のスタンドの出店の促進などを行い、自転車や船の利用者が過ごしやすい拠点づくり（モビリティハブ）を目指します。

③北上川沿い（開運橋～旭橋）の街並み等のガイドラインの作成の検討（提案）

- 開運橋から北上川越しに岩手山を望む盛岡の代表的な景観を保全し、さらににぎわいのある水辺空間を形成していくために、景観計画を補完する建物高さ・形態・用途の規制・誘導等を定めた街並み等のガイドラインや地区計画の作成を検討します。

④北上川両岸の一体的な活用の推進（提案）

- 既存の取組を活かして連携することで両岸の一体的な景観形成やイベントの開催を推進します。
- 例) 北上川両岸へのカウンターテーブルや照明の統一した整備等によるまとまりのある景観形成。川を舞台に両岸の建物や広場・道路を一体的に使ったイベントの検討など。

参考事例) 水辺沿いの張り出しテラス
柏の葉アクアテラス（柏市）

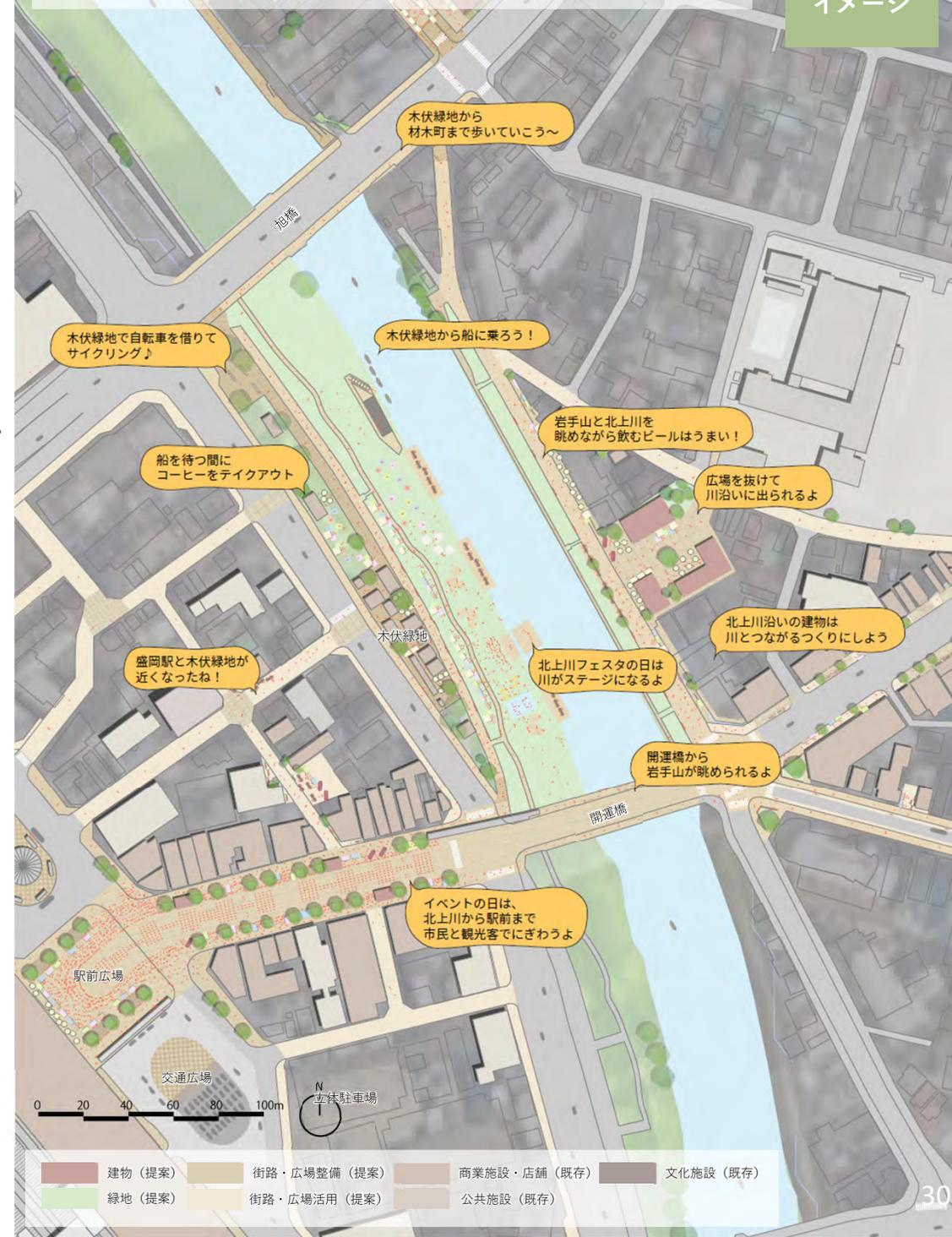


参考事例) 川沿いのオープンテラス
天王洲アイル（品川区）



本デザイン戦略で示す各エリアの将来ビジョンの例です。今後、公共事業のあり方や、地域の方々の意向や取組を考慮しながら、地域住民や民間事業者の方々と意見交換を通して、官民が連携して取り組むアクションプランとして、中心市街地全体と各エリアの将来ビジョンをまとめていきます。

まちづくり
方針の
イメージ



建物（提案）	街路・広場整備（提案）	商業施設・店舗（既存）	文化施設（既存）
緑地（提案）	街路・広場活用（提案）	公共施設（既存）	

■材木町エリアのまちづくり方針（案）

既存の街路整備や光原社をはじめとする個性的な店舗、定期開催されるよ市などを活かし、周辺エリアとのつながりを強化することで、まちなか観光や周遊の目的地となる個性的なエリア形成を目指します。

■公共空間整備・民間の取組のアイデア（提案）

まちづくり方針の実現に向け公共空間の再整備や民間の取組を進めていくアイデアを示します。

①材木町と周辺エリアとのつながりの強化（提案）

- 駅前周辺エリア、北上川方面とのつながりを強化するため、更新時期に合わせて、材木町のエントランスにあたる東側入口や旭橋周辺の道路（歩道）整備を検討します。
- ポケットパークや路地の整備検討を含めて、材木町を介して永祥院前の通りと北上川をつなぐ回遊動線の強化を検討します。
- 材木町裏石組の遊歩道へ降りる階段の位置を分かりやすくすることを検討します。

例) 材木町から建物内や路地を通して北上川や武田邸方面へ回遊できるようになります。

ポケットパークは、材木町よ市や酒買地蔵尊例大祭での屋台の出店スペースとして使えます。

- 材木町舟渡しの取組を活かして、船着き場を整備し、鉦屋町等、市内他エリアへ舟運でつなげることを検討します。

例) 鉦屋町などと連携して、お酒や民芸品等の共通テーマでエリア間を巡れるようにすると、舟運を利用した市内の回遊が活発になることが期待できます。

②材木町の魅力的な街並み形成の推進（提案）

- 鉦屋町や紺屋町など、中心市街地エリア内で過去にまたは今後同じ課題を抱えると想定される他のエリアと情報交換ができる体制を検討します。
- 「材木町よ市」時に活用できるファニチャー、サインの設置や建物の外構やリノベーションをおこない、平日にも材木町を訪れた人がエリア内を回遊したくなる街並み形成を検討します。

参考事例) 木材を活用したリノベーション
clealce（盛岡市）



参考事例) 木材を活用したファニチャー
IKEBUKUROLIVINGLOOP（豊島区）



まちづくり
方針の
イメージ

本デザイン戦略で示す各エリアの将来ビジョンの例です。今後、公共事業のあり方や、地域の方々の意向や取組を考慮しながら、地域住民や民間事業者の方々の意見交換を通して、官民が連携して取り組むアクションプランとして、中心市街地全体と各エリアの将来ビジョンをまとめていきます。



■開運橋エリアのまちづくり方針（案）

結節点にあるクロステラス盛岡の拠点性と、駅前周辺と大通りをつなぐ立地、集積し始めている個性的な飲食・物販店舗といった特徴を活かし、人の流れをつなぐ個性的な拠点形成を目指します。

■公共空間整備・民間の取組のアイデア（提案）

まちづくり方針の実現に向け公共空間の再整備や民間の取組を進めていくアイデアを示します。

①街路空間利用やエントランスの整備による拠点性の強化（提案）

- 盛岡停車場線へほこみち制度の適用や、社会実験の実施など、沿道店舗と一体の街路空間の利活用を検討します。
- 開運橋東交差点の橋詰広場の整備・活用など、エリアの拠点性を強化する顔づくりを検討します。

②開運橋エリアの魅力的な街並み形成の推進（提案）

- 建物やテナントの更新を通して魅力的な店舗が増えるよう、市と組合がまちづくり、商店街振興を共に考えるエリアマネジメント体制づくりを検討します。
- 飲食・物販店舗の出店誘導を検討し、ファッションや音楽関係等個性的な店舗が集積するエリア形成を目指します。
- 既存の取組を活かして、建物の外構やリノベーション、公共空間のファニチャー整備における木材活用を推進し、木材を通じてエリアの個性の強化を目指します。

参考事例) 交差点の広場整備

昭和通り・交差点四隅広場（大分市）



参考事例) 駐車場の利活用

下北線路街空き地（世田谷区）



まちづくり 方針の イメージ

本デザイン戦略で示す各エリアの将来ビジョンの例です。今後、公共事業のあり方や、地域の方々の意向や取組を考慮しながら、地域住民や民間事業者の方々の意見交換を通して、官民が連携して取り組むアクションプランとして、中心市街地全体と各エリアの将来ビジョンをまとめていきます。



■大通商店街エリアのまちづくり方針（案）

市内中心部の代表的な商業エリアとして、商店街の道路空間の再配分や歩車共存道路への改良、官民連携を見据えた交差点部の施設整備、周辺街区との連携強化、エリアマネジメント体制の充実等を検討し、魅力的な商店街を中心に面的に回遊できるエリア形成を目指します。

■公共空間整備・民間の取組のアイデア（提案）

まちづくり方針の実現に向け公共空間の再整備や民間の取組を進めていくアイデアを示します。

①大通商店街の通りの再整備に向けた検討（提案）

- ・ パーキングメーター廃止に伴う道路空間の再配分や、ストリートファニチャー、パークレットの設置を検討し、社会実験など実現へ向けた取組を推進します。
- ・ 現在一方通行である大通りについて、**道路空間再編**（歩車共存道路の改良）や時間帯通行規制などを検討し、大通りがより歩きやすい通りになることを目指します。

②大通り・映画館通りの交差点部における拠点形成に向けた検討（提案）

- ・ 大通り・映画館通りの交差点部における拠点形成に向けて、拠点施設と一体となった広場整備や、多様なモビリティの乗り換え拠点となるモビリティハブの設置など、まちなか観光や周遊の新たな拠点形成に向けた検討を進めます。

③周辺街区とのつながりの強化による面的な回遊エリアの形成（提案）

- ・ 大通商店街と南北の街区における、面的な**街路空間利活用**の促進を目指します。
- ・ 建て替え・再開発時に、1階の建物内のにぎわいが見える建物形態の誘導を検討します。

④エリアマネジメント体制の構築と周辺エリアとの連携（提案）

- ・ エリアの将来像の検討・共有や施設更新・テナント調整などを進める**エリアマネジメント**体制の構築を検討します。
- ・ 周辺エリアと連携したイベント開催や公共空間活用の取組の拡大を目指します。

参考事例) 街路沿いの植栽・滞留空間
とおり町ストリートガーデン（福山市）



参考事例) 交差点の拠点形成
銀座ソニーパーク（北九州市）



まちづくり 方針の イメージ



本デザイン戦略で示す各エリアの将来ビジョンの例です。今後、公共事業のあり方や、地域の方々の意向や取組を考慮しながら、地域住民や民間事業者の方々との意見交換を通して、官民が連携して取り組むアクションプランとして、中心市街地全体と各エリアの将来ビジョンをまとめていきます。

■菜園通りエリアのまちづくり方針（案）

ホテルや商業施設が立地し、道路空間再配分による歩行者・自転車空間の充実が検討されている菜園通りにて、街路空間利活用の推進やエリアマネジメントに向けた体制づくりを検討し、駅前周辺エリアと盛岡城跡公園方面をつなぐ魅力的な街路空間の形成を目指します。

■公共空間整備・民間の取組のアイデア（提案）

まちづくり方針の実現に向け公共空間の再整備や民間の取組を進めていくアイデアを示します。

①菜園通りの道路空間の再配分による歩行者・自転車空間の充実（提案）

- 都心環状道路の整備及び菜園通りの道路空間再配分により、広幅員の歩道や自転車通行帯の整備を検討します。
- 整備検討に当たっては、信号柱や標識等の道路付属物のデザイン等を調整します。

②沿道施設と一体の街路空間利活用の推進（提案）

- 菜園通りでは、沿道施設と一体の街路空間利活用を検討します。
- ホテルや商業施設の新設・改修時に通りと一体のオープンスペースの設置誘導を検討します。
- 商業施設周辺へのモビリティポートの整備を検討し、モビリティハブの形成を目指します。

例) 沿道施設のオープンスペースでのマルシェやチャレンジショップの開催

例) 歩道上にテイクアウト用のカウンターや簡易の自転車駐輪ラックの設置

③エリアマネジメントに向けた体制づくりの検討（提案）

- 沿道施設、テナント等の入れ替えやリニューアル時のまちづくりの観点からみた検討や、道路空間再配分等の公共事業の検討時の、協議主体となる**エリアマネジメント**体制づくりを推進します。

参考事例) 商業施設のオープンスペース
モコプラ（盛岡市）



参考事例) 道路から見える1階部分
SyuRo（台東区）



本デザイン戦略で示す各エリアの将来ビジョンの例です。今後、公共事業のあり方や、地域の方々の意向や取組を考慮しながら、地域住民や民間事業者の方々の意見交換を通して、官民が連携して取り組むアクションプランとして、中心市街地全体と各エリアの将来ビジョンをまとめていきます。

■映画館通りエリアのまちづくり方針（案）

大通り、菜園通り、中央通りを南北につなぐ、盛岡の市民文化の歴史を伝える映画館通りを中心に、映画や本、音楽等文化的テーマによるハード・ソフトの取組を充実させ、歩いて楽しめる街路空間の形成を目指します。

■公共空間整備・民間の取組のアイデア（提案）

まちづくり方針の実現に向け公共空間の再整備や民間の取組を進めていくアイデアを示します。

①映画館通りの再整備に向けた検討（提案）

- 映画館通りの**道路空間再編**（歩車共存道路の改良や道路空間の再配分）、それに向けた社会実験などの実施を通して、歩行者中心の通りへ転換することを目指します。
- 既存のファニチャーを活かして、ファニチャーの改修整備やパークレットの整備を検討します。

例) 映画館通りの特徴や歴史にあった個性あるファニチャーの検討を行います。

②エリアマネジメントによる市民文化を活かしたまちづくりの推進（提案）

- 事務局機能を同じくする、盛岡大通商店街協同組合との連携、まちづくりに向けた協議の推進と**エリアマネジメント**体制づくりを図ります。

- 映画に関わるコンテンツの支援を行い、映画によるまちづくりを推進することを目指します。

例) 映像作家による映画制作の支援や発表の場づくり、学生・子ども向けの映画ワークショップの開催、もりおか映画祭の開催等により、市民が映画に親しむ機会を増やすことができます。

- 映画館と周辺店舗の利用が相乗効果を生む仕組みづくりを検討します。

例) 映画館と飲食店のセット券や映画のテーマに沿ったイベントの開催等。

参考事例) 個性的なファニチャーを設置した事例
元町ショッピングストリート（横浜市）



参考事例) 映画によるまちづくりの推進
飲食・映画鑑賞セット券（盛岡市）



出典：盛岡市HP

まちづくり
方針の
イメージ

本デザイン戦略で示す各エリアの将来ビジョンの例です。今後、公共事業のあり方や、地域の方々の意向や取組を考慮しながら、地域住民や民間事業者の方々と意見交換を通して、官民が連携して取り組むアクションプランとして、中心市街地全体と各エリアの将来ビジョンをまとめていきます。



■内丸・中央通りエリアのまちづくり方針（案）

内丸プランとして検討されている官公庁エリアの再編に合わせ、中央通りの道路空間再配分と幹線系公共交通の導入、人中心の街路空間形成、沿道施設と一体の街路空間利用、中央通りの中津川との接続などの検討を通して、新たなかたちのシビックゾーンの形成を目指します。

■公共空間整備・民間の取組のアイデア（提案）

まちづくり方針の実現に向け公共空間の再整備や民間の取組を進めていくアイデアを示します。

①中央通りの道路空間再配分と幹線系公共交通の導入に向けた検討（提案）

- 官公庁エリアの再編と足並みを揃え、中央通りの道路空間再配分の検討を通じた、人中心の街路空間の形成を目指します。
- 合わせて、LRT・BRT等の幹線系公共交通の導入の可能性についても協議を進めます。
- 市役所が移設された場合、跡地に中央通りと中津川をつなぐオープンスペースの整備を検討します。
- 公共施設や事務所ビルの改修時に、中央通り沿いのオープンスペースの再整備や緑化を検討します。

②街路空間利活用＋モビリティハブの整備に向けた検討（提案）

- 中央通りでは、沿道施設と一体の街路空間の利活用を推進します。
- 幹線系公共交通の停車帯と駐輪場や滞留スペースが一体となったモビリティハブの整備を検討します。

③亀が池・鶴が池の水辺空間再整備に向けた検討（提案）

- 亀が池・鶴が池の水質浄化の取組を活かして、亀が池・鶴が池と内丸緑地が一体となったオープンスペースの整備を検討します。

例) 亀が池・鶴が池の周辺で歴史を活かした水辺空間を整備し、コンテナショップやキッチンカーの出店を促進することで、内丸エリアで働く人々が休憩やランチをする場所になることが期待できます。

参考事例) 街路の利活用

日本大通り（横浜市）



参考事例) 公共空間の利活用

横浜美術館（横浜市）



まちづくり方針のイメージ



■櫻山・大手先通りエリアのまちづくり方針（案）

盛岡城への入り口であった大手先通り、櫻山神社と櫻山界限、亀が池、鶴が池など、風情ある飲食店街と歴史的な資源が残る特徴を活かし、本町通り、紺屋町などの各方面へと回遊性をつなげる個性あるエリアの形成を目指します。

■公共空間整備・民間の取組のアイデア（提案）

まちづくり方針の実現に向け公共空間の再整備や民間の取組を進めていくアイデアを示します。

①大手先通りの魅力的な街並み形成の推進（提案）

- 大手先通りについて、盛岡城との関係を活かし、**道路空間再配分**及び無電柱化などによる歩行者中心の街路空間の形成を検討します。
- 大手先通りや櫻山横丁では、既存の街路空間利活用取組の拡大を検討し、沿道施設や店舗と一体の**街路空間の利活用**を検討します。

②緑の広場の再整備による中津川とのつながり形成（提案）

- 緑の広場を、中津川や道路に開いた広場に改修することを検討し、まちと中津川とのつながりを強化することを目指します。

③歴史資源の活用による回遊ルートの形成の検討（提案）

- 上の橋や掘割の跡等、エリア内に点在する歴史資源を活かした整備を検討し、内丸エリアや本町通り方面への回遊性の向上を目指します。

例) 歴史資源に気づくように旧奥州道中や上の橋、掘割跡にサインを整備するなど。

④歴史を活かしたまちづくりの検討（提案）

- 街並み等のガイドラインや地区計画を作成し、官民が連携して歴史を活かしたまちづくりを目指します。
- 櫻山界限の飲食店街の防災面の課題解決と風情あるまちなみの保全について議論を進めます。

参考事例) 歩車道一体の街路整備
神門通り（出雲市）



参考事例) 店先のベンチ・テーブル
Light up coffee（世田谷区）



まちづくり方針のイメージ

本デザイン戦略で示す各エリアの将来ビジョンの例です。今後、公共事業のあり方や、地域の方々の意向や取組を考慮しながら、地域住民や民間事業者の方々との意見交換を通して、官民が連携して取り組むアクションプランとして、中心市街地全体と各エリアの将来ビジョンをまとめていきます。



■本町通り・寺町エリアのまちづくり方針（案）

盛岡城への正面の目貫通りであった歴史を活かし、歴史的な建築物の活用と歩きやすい道づくりを進め、大手先通りから寺町への回遊性をつなげる歴史を活かしたエリアの形成を目指します。

■公共空間整備・民間の取組のアイデア（提案）

まちづくり方針の実現に向け公共空間の再整備や民間の取組を進めていくアイデアを示します。

①本町通りと寺町へのアクセス強化の検討（提案）

- 本町通りと寺町を自転車や徒歩で移動できるルートの整備を検討します。
- 例) 寺社を活用したコンテンツの創出やまちなかの宿泊施設・レストラン等、エリア全体で目的地となる機能を増やすことにより、歩行者回遊を創出することを目指します。

②リノベーションを推進する体制・仕組みの検討（提案）

- 点在する歴史的な建造物の保存やリノベーション・活用のための体制、仕組みを検討します。
- 例) 歴史的な建造物をリノベーションしたゲストハウスや飲食店の整備

③本町通り・寺町の街並み等の景観ガイドラインの作成の検討（提案）

- 建て替えや再開発・駐車場整備、サイン設置時の街並み等のガイドラインや地区計画を作成し、街並みに調和する形態・用途の誘導を検討し、歴史を活かしたまちづくりを目指します。
- ガイドラインの検討に当たっては、大手先通りと連携し、盛岡城の正面の通りとして統一感のある街並みの形成を目指します。

参考事例) 地区全体のライトアップ
たけた竹灯籠 竹楽（竹田市）



参考事例) 建物のリノベーション
FUKADASO CAFE（江東区）



まちづくり 方針の イメージ



■紺屋町・葺手町エリアのまちづくり方針（案）

旧街道沿いに歴史的な建造物や質の高い商業施設が点在し、街並みの景観保全や活用の議論が活発なエリアです。街並みの保全に関するルールづくりや、地域資源をつなぐ歩きやすい街路整備を通して、周辺エリアと連携してまち歩きを楽しめる個性的なエリア形成を目指します。

■公共空間整備・民間の取組のアイデア（提案）

まちづくり方針の実現に向け公共空間の再整備や民間の取組を進めていくアイデアを示します。

①紺屋町の街並み等のガイドライン作成の検討（提案）

- 建て替えや再開発・駐車場整備時等に街並みの景観保全や活用を記した**街並み等のガイドライン**や**地区計画**の作成を検討し、歴史的建造物や既存の街並みに調和する形態・用途の誘導とその活用を目指します。

②紺屋町の歩車共存道路整備と街路空間利活用の検討（提案）

- 紺屋町の歩車共存道路への転換に向けた社会実験などを通して、交通分析や活用可能性を検討し、**道路空間再編**による、車両速度を抑制した歩きやすい街路の形成を目指します。
- 葺手町こみちの取組を展開し、紺屋町・葺手町における沿道施設と一体の**街路空間利活用**の面的な展開を検討します。
- 紺屋町番屋周辺にポケットパークやモビリティポートを整備し、回遊拠点の形成を検討します。
- 旧井弥商店周辺の再整備や民間開発と合わせて、紺屋町のエントランスの形成を検討します。

例) 欧州アンチック市や工芸品や雑貨のポップアップショップとしてオープンスペースを活用

③中津川とのつながり強化と歴史資源の活用の検討（提案）

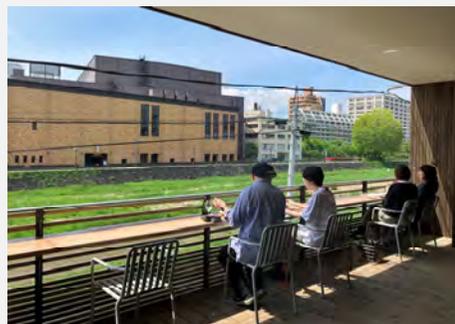
- 敷地内を通り抜けて紺屋町と中津川を行き来できる建物形態の誘導を検討します。
- 紺屋町と葺手町をつなぐ路地の整備を検討し、歩行者の回遊促進を目指します。
- 歴史的建造物・レトロな建物を活かし歴史のある建造物の活用・周知を推進することを検討します。

例) 歴史的建造物の公開・周知イベントの開催により、市内外にまちづくりを発信することができます。

参考事例) 歩車道一体の街路整備
本町通り（竹原市）



参考事例) 川に向けたテラス
minä perhonen koota joki（盛岡市）



まちづくり
方針の
イメージ

本デザイン戦略で示す各エリアの将来ビジョンの例です。今後、公共事業のあり方や、地域の方々の意向や取組を考慮しながら、地域住民や民間事業者の方々との意見交換を通して、官民が連携して取り組むアクションプランとして、中心市街地全体と各エリアの将来ビジョンをまとめていきます。



■中津川エリアのまちづくり方針（案）

盛岡の地域資源である中津川を活かしたまちづくりに向け、川沿いに連続したオープンスペースの整備や、民間の水辺利活用の促進を通して、水辺景観の保全と、川とまちが一体となり四季の変化や水辺の環境を身近に楽しめる魅力的で親水エリアの形成を目指します。

■公共空間整備・民間の取組のアイデア（提案）

まちづくり方針の実現に向け公共空間の再整備や民間の取組を進めていくアイデアを示します。

①水辺を楽しむ中津川沿いのオープンスペースの創出（提案）

- 市役所が移設された際には、中央通りと中津川をつなぐオープンスペースの整備を検討します。
- エリア内の駐車場機能の再配置などの協議を通して、中津川に面した公共空間を創出し、水辺を楽しむ川沿いのオープンスペースの整備と水辺空間の利活用促進を検討します。

例) いわぎりース駐車場敷地（なかのはし1-1ひろば）に常設の広場を整備すると、川沿いを楽しむ拠点になるとともに、放課後の小学生の遊び場や肴町商店街のイベントスペースとしての活用ができます。

②オープンスペースをつなぐ中津川沿いの遊歩道の検討（提案）

- 中津川沿いのオープンスペースをつなぎ、回遊性を高めるため、中津川沿い遊歩道の再整備などの水辺空間の形成を検討し、合わせて歴史・自然資源や河川敷に降りる階段の位置を紹介するサインの設置等を提案します。

③中津川沿い(上の橋～毘沙門橋)の街並み等のガイドラインの作成の検討（提案）

- 建て替えや再開発・駐車場整備時等に参照される、景観計画を補完する街並みの景観保全の内容や、その活用を記した街並み等のガイドラインや地区計画の作成を、官民の協働で検討し、歴史的建造物や既存の街並みに調和する形態・用途の誘導とその活用を目指します。

参考事例) 川沿いの親水空間
源兵衛川@横浜市



参考事例) 川沿いのオープンテラス
元安川のオープンテラス@広島市



まちづくり方針のイメージ

本デザイン戦略で示す各エリアの将来ビジョンの例です。今後、公共事業のあり方や、地域の方々の意向や取組を考慮しながら、地域住民や民間事業者の方々との意見交換を通して、官民が連携して取り組むアクションプランとして、中心市街地全体と各エリアの将来ビジョンをまとめていきます。



■肴町エリアのまちづくり方針（案）

歴史的な生活に密着した商店街としてのしっかりとした運営組織があり、周囲に新たな住民も増えています。新たに開業したmonaka・盛岡バスセンターとの連携や、テナントの更新、チャレンジショップの促進、リノベーションの検討などを通して、生活に密着した商店街として住民の日常を充実するとともに、住民活動や民間事業のチャレンジの場としても活用し、周囲への回遊の拠点となるエリア形成を目指します。

■公共空間整備・民間の取組のアイデア（提案）

まちづくり方針の実現に向け公共空間の再整備や民間の取組を進めていくアイデアを示します。

①日常利用を促進する商店街アーケード内の居場所づくりの検討（提案）

- 肴町商店街アーケード内で、滞留スペースの設置による住民や観光客の居場所づくりを目指します。
- 例) 既存のベンチプロジェクト等の取組を活かして、KITENEのDIYスペースを活用したファニチャーを増やしていくことで、子育て世代や高齢者の日常的な居場所となることが期待できます。

②チャレンジショップなど出店機会の多様化の検討（提案）

- 商店街アーケード内の歩道や空き店舗を活用したチャレンジショップなどの取組の可能性を検討し、新規店舗の出店誘導を目指します。
- 例) アーケード南側でチャレンジングな店舗の入居を促進することで、アーケード北側との差別化が図れます。

③リノベーションの促進による周辺エリアとの連携強化（提案）

- 商店街アーケード周辺の建物・オープンスペースのリノベーション・活用の誘導との連携を検討し、周辺エリアとのつながりの強化を目指します。
- 例) アーケード南側の建物（亀半本館等）のリノベーションにより、鉈屋町までの歩いて楽しい回遊ルートの形成が図れます。また、賜松園緑地の一般開放や御幸小路等の路地の高質化により、八幡町エリアとの面的な回遊を生むことが期待できます。

参考事例) 小商いの出店誘導
ロッカパッチ（横浜市）



参考事例) アーケードと広場の改修
大街道商店街（松山市）



まちづくり 方針の イメージ

本デザイン戦略で示す各エリアの将来ビジョンの例です。今後、公共事業のあり方や、地域の方々の意向や取組を考慮しながら、地域住民や民間事業者の方々との意見交換を通して、官民が連携して取り組むアクションプランとして、中心市街地全体と各エリアの将来ビジョンをまとめていきます。



■八幡通りエリアのまちづくり方針（案）

八幡通りは、町家が並ぶ盛岡八幡宮の参道であり、既存の街路整備やまちづくり団体の取組がみられます。町家リノベーションの展開や街並み等のガイドラインの作成による街並み景観や夜間景観の創出、周辺エリアとのつながりを生むモビリティの強化など、歴史性を活かしたエリアの形成を目指します。

■公共空間整備・民間の取組のアイデア（提案）

まちづくり方針の実現に向け公共空間の再整備や民間の取組を進めていくアイデアを示します。

①町家を活かしたりノベーションを推進する体制・仕組みの検討（提案）

- まちづくり団体による町家を活かしたりノベーションの取組を面的に拡大するため、歴史的建造物や町家の保存活用のための体制、仕組みを検討します。

②周辺エリアとつながりを生むモビリティの検討（提案）

- 中心市街地外縁部にあたるため、既存のイベント時の取組を活かし、馬車やボンネットバスなど個性的なモビリティの運行による、盛岡八幡宮・鉈屋町・清水町へのアクセス強化を検討します。

③八幡通りの街並み等のガイドラインの作成の検討（提案）

- 建て替えや再開発・駐車場整備時の街並み等のガイドラインや地区計画を作成し、街並みに調和する形態・用途の誘導を検討します。

参考事例) 神社参道の景観形成
神門通り（出雲市）



参考事例) 通りを生かした祭り
おわら風の盆（富山市）



■下ノ橋町・清水町エリアのまちづくり方針（案）

南昌荘や旧石井県令邸等の観光資源が点在しているほか、今後、病院の建て替え・跡地活用等の民間施設の新設・更新が見込まれるエリアです。民間施設と連携して、住民が日常的に気軽に訪れ、観光の中継地点となる小さな目的地を増やすことにより、大通商店街方面と鉦屋町方面への回遊をつなげる個性あるエリアの形成を目指します。

■公共空間整備・民間の取組のアイデア（提案）

まちづくり方針の実現に向け公共空間の再整備や民間の取組を進めていくアイデアを示します。

①民間施設の一部を活用した拠点づくりの検討（提案）

- 既存の病院の建て替えと連携して、病院機能の一部を有する地域に開いた施設を整備することにより、地域住民や観光客が気軽に立ち寄れる拠点を設けることを検討します。
- 既存の病院の建て替え時に、駐車場の一部にもパブリックスペースを設け、南昌荘や旧石井県令邸へ抜ける動線を確保することで、アクセスを強化することを検討します。
- 敷地の一部へのパブリックスペースの設置など、**良好な開発を誘導**することを検討します。

例) 病院の建て替え時に、病院の食堂や更衣室と地域に開いたカフェを併設することで、地域住民や観光客の回遊の拠点となり、大通り・菜園方面と鉦屋町間の回遊が活発になることが期待できます。

②エリア内外と連携した地域資源のPRの検討（提案）

- 下ノ橋エリアの点在する地域資源を中心市街地の回遊ルートの拠点に位置付けるため、エリア内外の地域資源と連携してPRすることを検討します。

例) 市内の庭園（武田邸、賜松園緑地、南昌荘）めぐり、展覧会めぐり等をセットでPRすることで、下ノ橋エリアの地域資源を中心市街地エリアの回遊に位置付けることができます。

③周辺エリアとつながりを生むモビリティの検討（提案）

- 中心市街地外縁部にあたるため、既存のイベント時の取組を活かし、馬車やボンネットバスなど個人的なモビリティの運行による、盛岡八幡宮や鉦屋町とのアクセスの強化を検討します。

参考事例) 事務所・飲食店の複合施設
ヒグマドーナツ（港区）



参考事例) 集合住宅敷地内のパブリックスペース
ののあおやま（港区）



まちづくり 方針の イメージ

本デザイン戦略で示す各エリアの将来ビジョンの例です。今後、公共事業のあり方や、地域の方々の意向や取組を考慮しながら、地域住民や民間事業者の方々の意見交換を通して、官民が連携して取り組むアクションプランとして、中心市街地全体と各エリアの将来ビジョンをまとめていきます。



■鉈屋町エリアのまちづくり方針（案）

歴史的な街並みの形成・保全・活用に関する既存の取組が進められており、部分的な不動産の流動化も進んでいるエリアです。今後はこれらの街並み景観を活用した観光拠点の形成を進めるとともに、周辺エリアとのつながりを強化し、中心市街地の回遊ルートに位置付けることを目指します。

■公共空間整備・民間の取組のアイデア（提案）

まちづくり方針の実現に向け公共空間の再整備や民間の取組を進めていくアイデアを示します。

①既存建物を活用した観光拠点の形成の検討（提案）

- 既存の取組を活かして**歴史的建造物（徳清倉庫等）**や**庭園を活用し**、観光の拠点づくりを目指します。

②広域の回遊ルート形成に向けた検討（提案）

- 鉈屋町北側の建物の**リノベーション・活用**を推進し、肴町方面との回遊性を高めるとともに、馬車やポンネットバスなど**個性的なモビリティの運行**による周辺エリアへとのつながりの強化を検討します。
- 盛岡を代表する個性的なエリアである材木町と鉈屋町を結ぶ、舟によるモビリティを検討します。

参考事例) 酒蔵を活用した飲食店
上野桜木あたり（台東区）



参考事例) 文化財を利用したミュージアム
武相荘（町田市）



まちづくり 方針の イメージ

本デザイン戦略で示す各エリアの将来ビジョンの例です。今後、公共事業のあり方や、地域の方々の意向や取組を考慮しながら、地域住民や民間事業者の方々との意見交換を通して、官民が連携して取り組むアクションプランとして、中心市街地全体と各エリアの将来ビジョンをまとめていきます。

